



ロタウイルス胃腸炎の 脱水は **要注意**



■下痢や吐き気、嘔吐(吐くこと)があつて医者にかかると、多くは胃腸炎と診断されます。胃腸炎の原因を大きく分けると、ウイルスによるものと、細菌によるものに分かれます。おとなでも子どもでもウイルスが原因の場合は、便が水のようになり、1日に何回も時には10回以上もトイレに通うこととなります。細菌が原因の場合は、便に血液がまざり、海苔(のり)を水に溶かしたような色の便になります。衛生状態がよい日本では、胃腸炎の原因の多くはウイルス性です。

■ウイルス性胃腸炎の原因ウイルスの代表は、ノロウイルス、ロタウイルス、腸管アデノウイルスです。おとなや小学生以上の子どもでは、原因の多くはノロウイルスです。一方、乳幼児の胃腸炎の原因の多くはロタウイルスです。

■ロタウイルス胃腸炎の特徴は、吐き気や嘔吐を訴える期間が3日(時には数日間)ほど続き、下痢も数日~7日続くため、病気になった早い時期から水分が不足する状態(脱水)に陥りやすいことです。この前も10kgの子どもが9kgの体重になって入院しました。60kgのおとなの人が1kg減ってもたいしたことはありませんが、10kgの子どもが体重1kg減ると10%の脱水状態となり、危険な状態になります。胃腸炎のときは、体重の変化が貴重な情報になります。

■乳幼児が10%の脱水になると、泣いてもほと

んど涙が出ませんし、皮膚をつまむとしばらく皮膚にしわが残る状態になります。また舌やくちびるがかわいて、スプーンを舌につけるとくっついてきます。10%の脱水になると、入院して治療しないと危険です。

■それでは、脱水にならないためにどうしたらいいでしょう?先ずは吐き気をやわらげるためにナウゼリン座薬を用います。ナウゼリン座薬を1回用いても嘔吐がなくなる場合は、入院治療をお勧めします。吐き気が和らいだ場合は、経口輸液療法を開始します。経口輸液療法に用いる液としてスポーツドリンクは推薦できません。糖分が多く、電解質(塩気)が少ないためです。糖分が多いと下痢を長引かせますし、電解質が少ないと体の塩気が減少し活気がなくなり、時にけいれんすることもあります(水中毒)。

■胃腸炎による脱水の治療には、OS-1(当院の売店、調剤薬局で購入可能)などの経口補液飲料を勧めています。下痢をした量だけ口からOS-1を飲ませるのが原則です。

■ロタウイルスの胃腸炎では痙攣(けいれん)を合併することもあります。医療が進んだ日本でもロタウイルス胃腸炎で亡くなる子どもがいます。胃腸炎とあなどらずに、適切な時期に医療機関を受診してください。入院治療にためられないでください。(院長 庵原 俊昭)



募集しています

① 看護師

▶ お気軽に 三重病院看護部長室 今井可奈子 までご連絡ください

看護師の仕事をやめてからしばらく経つので心配...と思ってみえる方、大丈夫です。看護技術が不安な方には、トレーニングをしていただく準備もできております。赤ちゃんからお年寄り、身体の不自由な方、どなたにもやさしい三重病院です。私たちといっしょに看護を試してみませんか?相談・見学随時お受けいたします。

② 薬剤師

非常勤の薬剤師業務

③ 業務技術員(看護助手)

非常勤の看護助手業務

▶ ②③のお問い合わせは 三重病院 管理課 北山までご連絡ください